



4月7日(金) 離任・新任・始業式がおこなわれ、新年度がスタートしました!

別れ・・・

清水博行校長先生が桐蔭高校、小坂信夫先生が紀央館高校、小野隆明事務長が和歌山盲学校に転出されることになりました。

清水校長先生からは「皆さんが高校を卒業したい、勉強したいという粘り強い思いをもっていることは、心から素晴らしいことだと思います。歩みを止めずに頑張り続けて卒業し、社会で活躍してほしい。チャンスを見逃さず、ピンチの時は身を守り、懸命に生きて頑張ってください。」とエールを。

そして小坂先生から「今になってさみしい気持ちです。私は人生は出会いが全てだと思います。出会いがあれば別れもあります。皆さんと出会えたことはすごく嬉しかったし、幸せなことです。新しい先生が来られたら新しい出会いがあります。皆のことは一生忘れません。ありがとうございました。」と挨拶をいただきました。

新たな出会い・・・

新しい校長先生として笹井晋吾先生が県教育委員会より、安原敏夫先生(数学)が耐久全日制から、大野和也先生(理科・情報)が香川県の尽誠学園から来られました。よろしくお願いいたします。

気分新たにさらに成長を!

校長先生から「始業式は自分が1年間やってきたことを節目として振り返る良い機会です。勉強も仕事もそうですが、1年前にこんなことをやりたい、こんなことに挑戦したい、と思ってやってきたことを振り返ってみる日だと思います。そして学年が変わるといことで、今日を節目にリセットできます。学校生活の節目節目で自分を捉え直して、『ここからまた頑張るぞ』、という気持ちになれるのです。皆さんの顔を見て、『一緒に頑張りましょう』と言えることを本当にうれしく思います。」とお言葉をいただきました。



道を切り拓くのは君だ!

4月10日(月)桜の花が咲き誇るなか、5名が晴れて入学しました。

笹井晋吾校長先生が「ものの見方や考え方をしっかりと身につけよう、たくましく生きよう、人としてどうあるべきかを判断し、人としての行いを尊重して生活していこう!、この『真・健・美』の校訓のもと、皆さんが人間として必要な、バランスのとれた力を身につけてほしい。」と話された上で

『意志ある所、道あり』というアメリカ合衆国第16代大統領リンカーンの言葉を紹介され、「これは、どんな困難なことがあっても、それをやりとげる意志があれば必ず道は開けるのだという意味です。この言葉は、次の一步をためらう時、困難にぶつかり気持ちが折れそうな時に、希望や勇気を与えてくれます。」と述べられました。そして「皆さんは高校生としてのスタート地点に立ち、大いに気持ちが引き締まっていることと思います。今日の気持ちを大切にしてください。全力で応援します。」と激励されました。



よろしくお願いします!

4月11日(火) 新入生と上級生が初めて顔を合わせました。緊張した面持ちでしたが、優しい先輩たちばかりですので、すぐに慣れると思います。



担任紹介

- 1年正担任: 井元 孝一 (英語) 1・2年副担任: 大野和也 (理・情)
- 2年正担任: 洲崎 啓介 (国語) 3・4年副担任: 三ツ橋鉄也 (商業)
- 3年正担任: 安達 康将 (保体) 総副担任: 川口 裕之 (地歴・公民)
- 4年正担任: 安原 敏夫 (数学)

校内散歩 ～ぶらぶら～



うららかな春の日、ピンクと白の芝桜が見事です。10数年前に中国からいただいた牡丹(ぼたん)もポリュームのある花を咲かせていました。

5月の主な行事予定

- 11日(木) 中間考査発表
- 23日(火) 中間考査終了
- 15日(月) スポーツテスト
- 24日(水) 遠足 (USJ)
- 18日(木) 中間考査開始
- 31日(金) 歯科検診